

## 研究協力のお願

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

施設名： 大阪国際がんセンター

産婦人科

### 記

研究課題名：	高齢子宮内膜癌患者に対する低侵襲手術療法の予後に関する多施設共同観察研究
研究の目的：	本研究では、70歳以上の高齢子宮体癌患者さんに対する、開腹術および腹腔鏡手術や、リンパ節郭清（リンパ節をすべて取り除くこと）の省略などの低侵襲手術が予後に与える影響について検討します。症例数が少なく評価が困難であるため、大阪医科大学が主管となり、本院は共同研究機関として参加する多施設共同研究となります。
研究の意義：	子宮体癌では、子宮全摘出術および両側付属器摘出（卵巣および卵管の切除）に加えて、リンパ節郭清術が施行されることが多いですが、全身状態が不安定な高齢者では、できる限り侵襲を抑えた腹腔鏡手術が広く行われています。しかしながら本邦では子宮体癌 IA 期のみ腹腔鏡手術の適応となっており、IB 期以上では開腹術を選択することになります。高齢者において、腹腔鏡手術の有用性が示されれば、より侵襲の少ない（より身体への負担が少ない）治療を選択することができるようになります。
研究の対象：	以下の該当期間において子宮体癌に対して子宮全摘出術を行った 70 歳以上の患者さん（本院では 140 例、多施設全体で 350 例を予定しています。）
該当期間：	2005 年 1 月 1 日 ～ 2020 年 6 月 1 日
研究の方法：	診療録より患者背景、手術内容、術後経過、予後に関するデータを抽出し、個人情報とは別の試験（研究）番号を各症例に割り付け、どの患者さんのデ



産婦人科学	助教	古形 祐平
産婦人科学	助教（准）	寺田 信一
産婦人科学	助教（准）	宮本 瞬輔
産婦人科	レジデント	西江 瑠璃

共同研究機関

大阪警察病院 産婦人科	医員	清田 敦子
泉大津市立病院 産婦人科	医員	田中 和東
神戸大学医学部附属病院 産婦人科	医員	高橋 良輔
大阪国際がんセンター 産婦人科	医員	前田 通秀
神戸市立医療センター中央市民病院 産婦人科	医員	水野 友香子
奈良県総合医療センター 産婦人科	医員	上林 潤也
和歌山県立医科大学 産婦人科	医員	平山 純也
奈良県立医科大学 産婦人科	医員	木村 麻衣
大阪市立大学 産婦人科	医員	橋口 裕紀
京都大学医学部附属病院 産婦人科	医員	中川 郁
京都府立医科大学 産婦人科	医員	寄木 香織
滋賀医科大学附属病院 産婦人科	医員	信田 侑里
大阪市立総合医療センター 産婦人科	医員	駿河 まどか
京都府立医科大学附属北部医療センター 産婦人科	医員	山下 優
京都第二赤十字 産婦人科	医員	加藤 聖子
関西医科大学 産婦人科	医員	佛原 悠介
近畿大学奈良病院 産婦人科	医員	西岡 和弘
天理よろづ相談所病院 産婦人科	医員	松原 慕慶
大阪大学 産婦人科	医員	上田 豊

※ 本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、本研究以外の目的では利用いたしません。

※ 対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の  
独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧で  
きます。

※ ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申  
し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出を  
された場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加  
拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予め  
ご了承ください。

当院における問合せ、参加拒否の申し出先

住 所： 〒541-8567  
大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69  
施設名： 大阪国際がんセンター 産婦人科  
担当者： 前田 通秀  
T E L： 06-6945-1181（代表）

研究全体の問い合わせ、参加拒否の申し出先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号  
大阪医科大学 産婦人科学教室  
（大阪医科大学附属病院 産婦人科）  
担当者： 田中 智人  
T E L： 072-683-1221（代表）  
内 線： 3569